

教科	地理歴史	科目	世界史A	講座	2年AB講座	種別	必修
単位数	2	教科書	世界の歴史 改訂版 (山川出版社)				
副教材	世界史のパピリオン (東京法令出版社)						
授業形態	講義、グループ学習、発表など						
科目の目標	近現代史を中心とする世界の歴史を、諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と教養を身に付けさせる。						
身に付けてほしい学力	1 近現代史を中心とする世界の歴史に興味を持ち、基本的な知識を習得する。 2 現代の諸課題を考察するための歴史的思考力を培う。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	<b>【1学期】</b> 1 世界の諸文明 2 世界の一体化の始まり  <b>【2学期】</b> 3 近代の世界 4 現代の始まりと帝国主義 5 二つの世界大戦  <b>【3学期】</b> 6 平和と冷戦 7 現代世界と日本			<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域に発展した文明について、基本的な歴史事項を理解する。</li> <li>ヨーロッパを中心とした世界の一体化が進む過程を理解する。</li> <li>欧米諸国のアジア進出によるアジア地域の変貌を理解する。</li> <li>戦争の悲惨さを理解しながら、世界平和を希求する意識を養う。</li> <li>戦後世界の動向を理解しながら、国際社会の一員としてどのように生きていくかを考察する。</li> </ul>			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
	現代社会に興味・関心を持ちながら、自ら課題を発見したり、関わろうとしたりすることができ、話し合いの場面では、相手の意見を聞きながら、自らの意見を積極的に発表しようとする。	社会事象を多面的、多角的に捉えて他の事象と比較や検討をし、関連を考察してノートや学習プリント、発表資料、レポートなどに記述できる。	必要に応じて多様な情報を活用し、探究活動に有用な資料を選択・収集することができ、的確に情報を読み取ったり、活用したりすることができる。	現代社会の特色や課題を捉える基本的事項に関する知識を十分に持っており、現代社会の特色や課題について理解し、説明することができる。			
定期考査並びに小テスト及び授業態度、提出物等に基づいて、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用の技能」「知識・理解」の4観点から総合的に評価する。							
学習のアドバイス	1 授業に休まず出席し、活動をする場面では、積極的に参加する。 2 歴史に興味を持ち、基本的な歴史事項を理解し、定着させようとする。						
その他	特になし						

教科	地理歴史	科目	世界史A	講座	2年C講座	種別	必修
単位数	2	教科書	世界の歴史 改訂版 (山川出版社)				
副教材	世界史のパピリオン (東京法令出版社)						
授業形態	講義、グループ学習、発表など						
科目の目標	近現代史を中心とする世界の歴史を、諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と教養を身に付けさせる。						
身に付けてほしい学力	1 近現代史を中心とする世界の歴史に興味を持ち、基本的な知識を習得する。 2 現代の諸課題を考察するための歴史的思考力を培う。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	<p>【1学期】</p> <p>1 世界の諸文明</p> <p>2 世界の一体化の始まり</p> <p>【2学期】</p> <p>3 近代の世界</p> <p>4 現代の始まりと帝国主義</p> <p>5 二つの世界大戦</p> <p>【3学期】</p> <p>6 平和と冷戦</p> <p>7 現代世界と日本</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域に発展した文明について、基本的な歴史事項を理解する。</li> <li>ヨーロッパを中心とした世界の一体化が進む過程を理解する。</li> <li>欧米諸国のアジア進出によるアジア地域の変貌を理解する。</li> <li>戦争の悲惨さを理解しながら、世界平和を希求する意識を養う。</li> <li>戦後世界の動向を理解しながら、国際社会の一員としてどのように生きていくかを考察する。</li> </ul>			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
	現代社会に興味・関心を持ちながら、自ら課題を発見したり、関わろうとしたりすることができ、話し合いの場面では、相手の意見を聞きながら、自らの意見を積極的に発表しようとする。	社会事象を多面的、多角的に捉えて他の事象と比較や検討をし、関連を考察してノートや学習プリント、発表資料、レポートなどに記述できる。	必要に応じて多様な情報を活用し、探究活動に有用な資料を選択・収集することができ、的確に情報を読み取ったり、活用したりすることができる。	現代社会の特色や課題を捉える基本的事項に関する知識を十分に持っており、現代社会の特色や課題について理解し、説明することができる。			
	定期考査並びに小テスト及び授業態度、提出物等に基づいて、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用の技能」「知識・理解」の4観点から総合的に評価する。						
学習のアドバイス	1 授業に休まず出席し、活動をする場面では、積極的に参加する。 2 歴史に興味を持ち、基本的な歴史事項を理解し、定着させようとする。						
その他	特になし						

教科	地理歴史	科目	日本史A	講座	3年CD講座	種別	選択
単位数	2	教科書	高等学校 改訂版 日本史A 人・暮らし・未来 (山川出版社)				
副教材	最新日本史図表 二訂版 (第一学習社)						
授業形態	講義、グループ学習、発表など						
科目の目標	我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人の資質を養う。						
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> <li>我が国の歴史に興味を持ち、基本的な知識を習得する。</li> <li>我が国の文化と伝統の特色について認識を深めることで、歴史的思考力を培う。</li> </ol>						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	<p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>近代への胎動</li> <li>開国と幕末の動乱</li> <li>近代国家の形成</li> </ol> <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>国際関係の推移と近代産業の発展</li> <li>第一次世界大戦と日本</li> <li>第二次世界大戦と日本</li> <li>日本の再出発</li> </ol> <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>独立後の政治と経済の発展</li> <li>現代の日本と世界</li> </ol>			<ul style="list-style-type: none"> <li>開国から明治維新に至るまでの過程を理解する。</li> <li>明治新政府の制度改革や様々な政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。</li> <li>日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察する。</li> <li>戦後の世界秩序を踏まえ、諸改革について、その経過と内容を考察する。</li> </ul>			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
	歴史に興味や関心を持ち、自ら課題を発見し、話し合いの場面で、仲間の意見に耳を傾けながら、自らの意見を積極的に発表しようとする。	歴史的な事象を多面的、多角的に捉え、他の事象との比較や検討をし、関連を考察し、公正に判断してノートや学習プリントなどに記述できる。	必要に応じて多様な情報を活用し、有用な資料を選択・収集ができ、資料の特性を踏まえて、的確に情報を読み取ったり、活用したりすることができる。	歴史的な事象を捉える基本的な事項に関する知識を十分に持ち、歴史的な事象や各時代の特色について理解し、説明することができる。			
定期考査並びに小テスト及び授業態度、提出物等に基づいて、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用の技能」「知識・理解」の4観点から総合的に評価する。							
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>授業に休まず出席し、活動をする場面では、積極的に参加する。</li> <li>歴史に興味を持ち、基本的な歴史事項を理解し、定着させようとする。</li> </ol>						
その他	特になし						

教科	地理歴史	科目	日本史B	講座	2年A(文)B講座	種別	選択
単位数	2	教科書	詳説日本史 改訂版 (山川出版社)				
副教材	最新 日本史図表 初訂版 (第一学習社)						
授業形態	講義、グループ学習、発表など						
科目の目標	我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人の資質を養う。						
身に付けてほしい学力	1 我が国の歴史に興味を持ち、基本的な知識を習得する。 2 我が国の文化と伝統の特色について認識を深めることで、歴史的思考力を培う。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	<b>【1学期】</b> 1 日本文化のあけぼの 2 律令国家の形成  <b>【2学期】</b> 1 貴族政治と国風文化 2 中世社会の成立  <b>【3学期】</b> 1 武家社会の成長			・日本列島における古代の社会と文化を理解する。 ・律令制度に基づく国内統治体制について理解する。  ・藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。 ・武家政権の支配の進展や武家文化の発展を理解する。  ・戦国時代の日本の多様性を理解しながら、織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について考察する。			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
	歴史に興味や関心を持ち、自ら課題を発見し、話し合いの場面で、仲間の意見に耳を傾けながら、自らの意見を積極的に発表しようとする。	歴史的事象を多面的、多角的に捉え、他の事象との比較や検討をし、関連を考察し、公正に判断してノートや学習プリントなどに記述できる。	必要に応じて多様な情報を活用し、有用な資料を選択・収集ができ、資料の特性を踏まえて、的確に情報を読み取ったり、活用したりすることができる。	歴史的事象を捉える基本的事項に関する知識を十分に持ち、歴史的事象や各時代の特色について理解し、説明することができる。			
定期考査並びに小テスト及び授業態度、提出物等に基づいて、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用の技能」「知識・理解」の4観点から総合的に評価する。							
学習のアドバイス	1 授業に休まず出席し、活動をする場面では、積極的に参加する。 2 歴史に興味を持ち、基本的な歴史事項を理解し、定着させようとする。						
その他	特になし						

教科	地理歴史	科目	日本史B	講座	3年AB講座	種別	選択
単位数	5	教科書	新日本史B改訂版(山川出版社)				
副教材	最新日本史図表 初訂版(第一学習社)						
授業形態	講義、グループ学習、発表など						
科目の 目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的・国際的条件及び世界史的視野に立って総合的に考察し、様々な生活・文化や伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						
身に付けて ほしい学力	1 我が国の歴史に興味を持ち、基本的な知識を習得する。 2 我が国の生活・文化や伝統の特色について認識を深めることで、歴史的思考力を培う。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	<b>【1学期】</b> 1 武家政権の成立 2 中世社会の展開 3 幕藩体制の確立 4 幕藩体制の展開 5 幕藩体制の動揺 <b>【2学期】</b> 1 近代国家の成立 2 立憲国家の成立と日清・日露戦争 3 大正デモクラシーと政党政治 4 第二次世界大戦と日本 5 占領統治と国際復帰 <b>【3学期】</b> 1 55年体制と高度経済成長 2 冷戦の終了と55年体制の崩壊			<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌倉新仏教の成立と文化の新しい動きについて理解する。</li> <li>・中世社会の展開と東アジアとの交流について理解する。</li> <li>・幕藩体制の確立から動揺に至る過程を経済・文化の発展と関連させて考察させる。</li> <li>・開国から明治維新に至る過程や明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。</li> <li>・日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察する。</li> <li>・世界秩序を踏まえたうえで、戦後の諸改革について、その経過と内容を考察する。</li> </ul>			
評価の 観点・ 評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
	歴史に興味や関心を持ち、自ら課題を発見し、話し合いの場面で、仲間の意見に耳を傾けながら、自らの意見を積極的に発表しようとする。	歴史的事象を多面的・多角的に捉え、他の事象との比較や検討をすることで関連を考察し、その内容を記述できる。	有用な資料を選択・収集ができ、資料の特性を踏まえて、的確に情報を読み取ったり、活用したりすることができる。	歴史的な事象を捉える基本的な知識を持ち、歴史的な事象や各時代の特色について理解し、説明することができる。			
定期考査並びに小テスト及び授業態度、提出物等に基づいて、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用の技能」「知識・理解」の4観点から総合的に評価する。							
学習の アドバイス	1 授業に集中し、活動をする場面では、意欲的・積極的に参加する。 2 歴史に興味・関心を持ち、基本的な歴史事項を理解し、定着させようとする。						
その他	特になし						

教科	地理歴史	科目	地理B	講座	2年A(理)講座	種別	選択
単位数	2	教科書	新詳地理B（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）				
副教材	COMPLETE 地理資料（帝国書院）、ニューコンパスノート地理（東京法令出版）						
授業形態	講義						
科目の目標	地理的事象について、思考・判断し、その成果を科学的に分析・表現することができる能力を養う。						
身に付けてほしい学力	1 地理的事象に対して、興味・関心を持ち、探究課題を見つけ、積極的に取り組む姿勢を養う。 2 科学的な視野に立って分析・思考・判断・表現できる資質を身に付ける。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	<b>【1学期】</b> 1 地理情報と地図 2 地図の活用と地域調査 3 自然環境  <b>【2学期】</b> 4 資源と産業 5 人口、村落・都市  <b>【3学期】</b> 6 生活文化、民族・宗教			・地図の活用と地域調査について、地図を活用して多面的・多角的に調査する。 ・世界の地形・気候・植生などの分布や人間生活とのかかわりなどについて考察させ、現代世界の環境問題を大観させる。 ・世界の資源・エネルギーや農業・工業・流通・消費などの分布や動向などについて考察させ、現代世界の資源・エネルギー・食料問題を大観させる。 ・世界の人口、村落・都市などの分布や動向について考察させ、現代世界の人口、居住・都市問題を大観させる。 ・世界の生活文化、民族・宗教の分布や民族と国家の関係などについて考察させ、現代世界の民族・領土問題を大観させる。			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
	授業に意欲的に参加し、学習内容に対して地理的な視点をもって関心を持つことができる。	学習内容に対して地理的な視点から科学的に分析・思考・判断し、その成果を表現できる。	必要に応じて、地図帳、資料集を活用して、課題を解決できる。 提示された資料から様々な情報を読み取れる。	地理的な視点に立って、習得した知識を活用して、提示された課題や自ら発見した課題を解決することができる。			
・授業中の態度・発言、提出物、課題への取り組み方および定期考査により総合的に評価を行う。							
学習のアドバイス	・しっかりと教科書、資料集をよく読み、重要だと思った事項にマーカーで目印を付ける。 ・問題演習に取り組むことにより、思考力や判断力を養う。 ・重要事項や基本的用語を自らの言葉で表現できる練習をする。						
その他	特になし						

教科	地理歴史	科目	地理 B	講座	3年B講座	種別	選択
単位数	5	教科書	新詳地理B (帝国書院)				
副教材	新詳高等地図 (帝国書院)、新詳地理資料 (帝国書院)						
授業形態	講義、問題演習 (応用演習)						
科目の 目標	2年生での既習事項を基に問題演習を行うことにより、地理的事象について、思考・判断し、その成果を科学的に分析・表現することができる能力を養う。						
身に付けて ほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地理的事象に対して、興味・関心を持ち、探究課題を見つけ、積極的に取り組む姿勢を養う。</li> <li>2 科学的な視野に立って分析・思考・分析・判断・表現できる資質を身に付ける。</li> </ol>						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	<p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 東アジア</li> <li>2 東南アジア</li> <li>3 南アジア</li> <li>4 西アジアと中央アジア</li> </ol> <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5 北アフリカとサハラ以南のアフリカ</li> <li>6 ヨーロッパ</li> <li>7 ロシア</li> <li>8 アングロアメリカ</li> <li>9 ラテンアメリカ</li> <li>10 オセアニア</li> </ol> <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>11 問題演習</li> </ol>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代世界の諸地域を取り上げ、歴史的背景を踏まえて多面的・多角的に地域の変容や構造を考察し、それらの地域にみられる地域的特色や地球的課題について理解させたり、地誌的に考察する方法を身に付けさせたりする。</li> <li>・自然・政治・経済・文化などの指標によって区分された地域を踏まえて地域を取り上げる。</li> <li>・地図や各種の統計・年間・白書・画像その他の資料から地理的事象を的確に読み取り、地域の変容や構造を考察し、それらの地域にみられる地域的特色や地球的課題について説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、討論したりする。</li> </ul>			
評価の 観点・ 評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
	授業に意欲的に参加し、学習内容に対して地理的な視点をもって関心を持つことができる。	学習内容に対して地理的な視点から科学的に思考、判断、分析し、その成果を表現できる。	必要に応じて、地図帳・資料集を活用し、課題を解決できる。 提示された資料から様々な情報を読み取れる。	地理的な視点に立ち、習得した知識を活用して提示された課題や自ら発見した課題を解決することができる。			
・授業中の態度、発言、提出物、課題への取り組み方と、定期考査により、総合的に評価を行う。							
学習の アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかりと教科書、資料集をよく読み、重要だと思った事項にマーカーで目印を付ける。</li> <li>・問題演習に取り組むことにより、思考力や判断力を養う。</li> <li>・重要事項や基本的用語を自らの言葉で表現できる練習をする。</li> </ul>						
その他	特になし						